

船舶インシデント調査報告書

平成28年5月26日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

インシデント種類	運航不能（推進器故障）
発生日時	平成28年1月2日 11時50分ごろ
発生場所	熊本県上天草市樋島 ^{ひの} 北東方沖 上天草港樋島防波堤灯台から真方位081° 1.3海里付近 (概位 北緯32° 24.0′ 東経130° 26.0′)
インシデントの概要	プレジャーボート竜飛 ^{りゅうひ} は、航行中、船外機の推進力が得られなくなり、運航不能となった。
インシデント調査の経過	平成28年2月9日、調査を担当する主管調査官（長崎事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済み
事実情報	
船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	プレジャーボート 竜飛、0.6トン 293-40561熊本、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、二級小型
負傷者	なし
損傷	なし
気象・海象	気象：天気 晴れ、風 なし、視界 良好 海象：海上 平穏
インシデントの経過	本船は、船外機を始動して回転数を上げたものの、推進力が得られなかったため、船長が救助を要請した。 本船は、帰港後、修理業者が船外機を点検したところ、プロペラ軸とプロペラとの間に圧入されているラバーブッシュが切損し、プロペラ軸の回転力をプロペラに伝達することができず、推進力を得られなくなったことが判明した。
分析	本船は、ラバーブッシュが切損したことから、プロペラ軸の回転力をプロペラに伝達することができなくなったものと考えられる
原因	本インシデントは、本船が航行中、ラバーブッシュが切損したため、プロペラ軸の回転力をプロペラに伝達することができなくなったことにより発生したものと考えられる。
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・ラバーブッシュは、定期的に点検することが望ましい。